

Shamisenbori Public Dining Hall, Tokio-2-Story Reinforced Concrete Building,
Completed March, 1927.



(1) 東京市設三味線堀公衆食堂全景

(1) General View of the Shamisenbori Public Dining Hall.

鐵筋コンクリートの

三味線堀公衆食堂

僅かに工費貳萬五千圓ではあるが、鐵筋コンクリート建の公衆食堂が出来た、建物の様式から衛生設備迄も近代向に出来てをる。今後永久に市民から重寶がられるものである。(編者)

現代民衆施設 公衆食堂

現今の東京市社會施設として最も業績を揚げつゝあるものは公衆食堂營業で、今市内には上野車坂、九段下、本郷眞砂町、深川猿江等七ヶ所に設けられ一日供給人員一萬六千人に及び學生紳士勞働者等一般人に利用せらるゝに鑑み、今後は淺草區小島町に工費二萬五千餘圓を投じ、東京市最初の鐵筋混凝土造食堂

を建設された。設計は東京市建築課營繕第二掛り、其の様式は東京市としては比較的自由なもので、質素にして而も高雅である、室内換氣、採光、色彩、排水等の設備も能く行き届いてゐる。

三味線堀公衆食堂工事概要

位置及敷地 淺草區小島町八十七番地

敷地面積 七十坪

建物坪數 延八十八坪六合三勺

内 譯 定食堂 二十二坪 喫茶室七坪

調理室 十三坪五合 配膳室 十二坪 事務室宿直室其他



(2) 三味線堀公衆食堂内部

(2) Inner View of the Same Dining Hall.

設備 三十四坪一合三勺
工期 起工大正十五年九月二日 竣功昭和二年三月二十六日

構造 鐵筋混凝土造二階建

(イ)基礎 杭打割栗地形

(ロ)間仕切 主要部鐵筋混凝土造 一部木造

(ハ)屋根 陸屋根ルーピング防水工事の上豆砂利散布仕上

(ニ)壁 外部日の出石粉入モルタル仕上
内部漆喰塗モルタル塗、ペンキ仕上

(ホ)床 一階モルタル仕上 二階防水層工事の上押へ「シンダーコンクリート」打色モルタル仕上

調理室 燃料は瓦斯を用ひ室内には二斗

焚竈四個設けられ冷蔵室の設備もある、衛生消毒設備も完備してゐる

食堂 定食堂の食卓は連続式で用材はタンギールを用ひ氣持よく組立てられて居る

工費 二萬五千餘圓

設計及監督 東京市土木局建築課

請負人 安藤熊吉

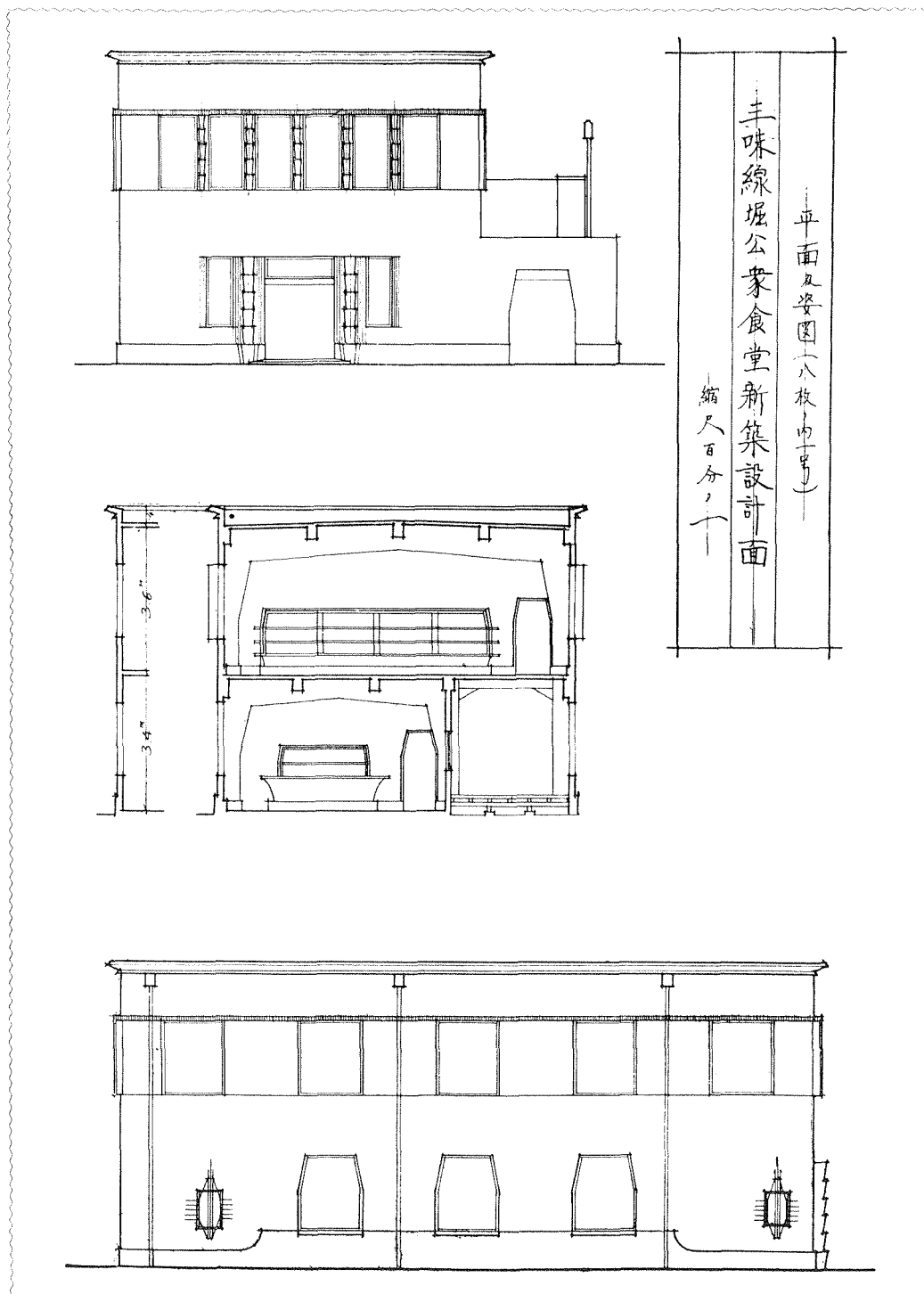
事業内容

(イ)定食堂 定席六十四人(一坪に付三人)
一日延供給人員

一千八百九十人

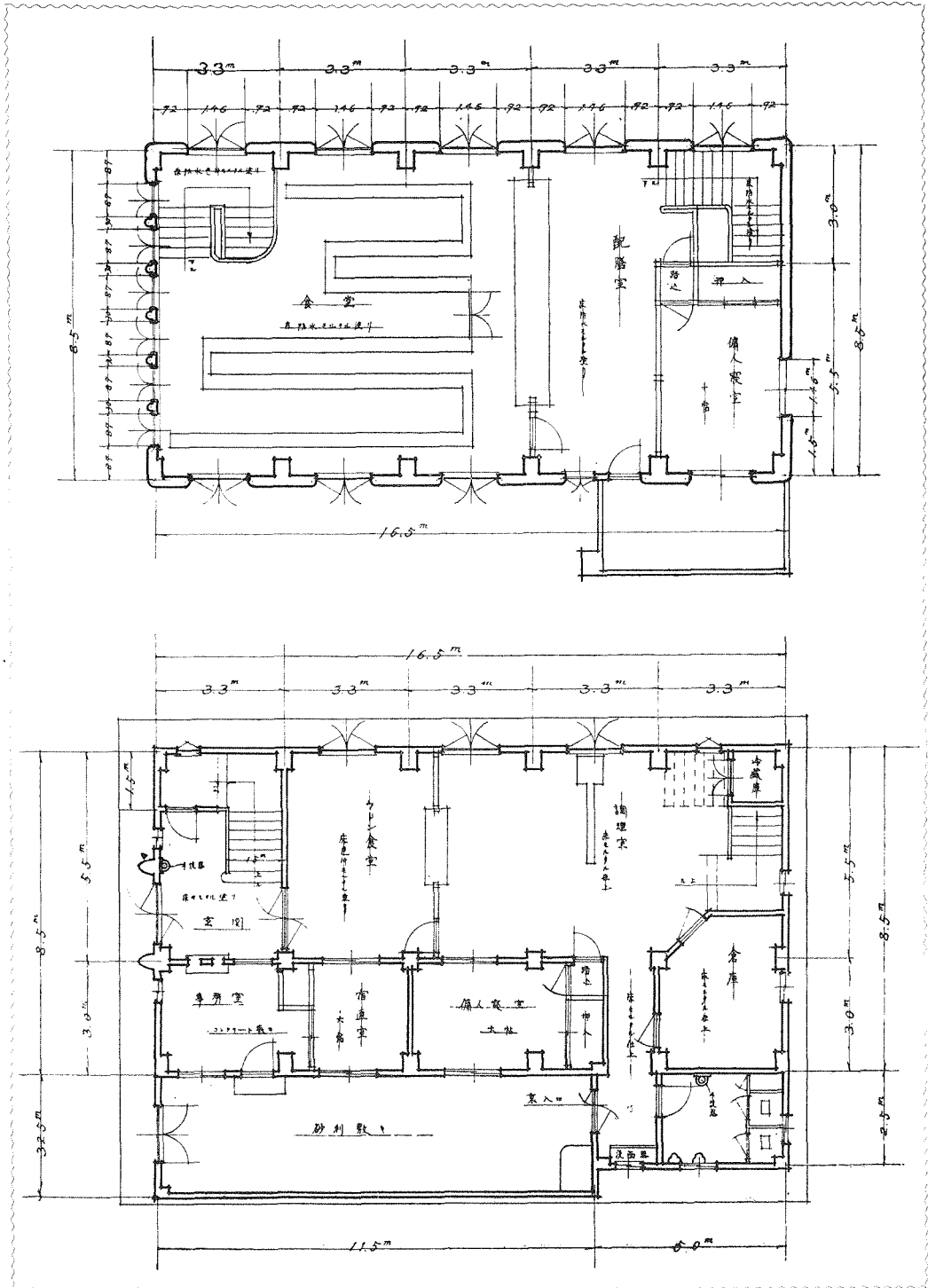
(ロ)喫茶室 定席二十四人(一坪に付三人)
一日延供給人員

二千六百八十人



(3) Front Cross Section, and Side Elevations.

(3) 三味線堀公衆食堂設計圖 正面、斷面、側面圖



(4) Plan of First and Second Floors.

(4) 三味線城公衆食堂設計圖 一階及二階平面